

ふかうら

議会だより

No.86

6 2026年
月定例会

令和8年8月14日発行

「とにかく一人前になりたい」

こがわとしひさ

古川豪一さん（北金ヶ沢）

海
を
継
ぐ

農業用ハウス等雪害復旧緊急支援事業費など

補正予算

▶ 3

深浦町議会チャンネル

🔍 検索



わが町のことが聞きたい！ 一般質問 3人が質す

▶ 4

ホームページ： <https://www.town.fukaura.lg.jp/category/bunya/gikai/>

深浦町議会 第145回定例会



第145回定例会は、6月5日から9日までの5日間の会期で開かれました。
一般質問では3人の議員が登壇し、町政運営の課題を質しました。
また、本定例会では、町長からの補正予算や条例関係などの議案8件、報告3件が提出されすべて原案のとおり可決しました。

6/5
(金)

- ・全議案一括上程
- ・提案理由の説明



提案理由等の動画が視聴できます。

YouTube「深浦町議会チャンネル」



インターネット配信サービスYouTube（ユーチューブ）で録画配信が視聴できます。

6/6
(土)

～

6/7
(日)

- ・休会

6/8
(月)

- ・一般質問



七戸 仁



大高恒藏



今 勝吉

6/9
(火)

- ・議案審議、採決



提案理由等の動画が視聴できます。



豪雪による被害を受けた 農業用ハウスの復旧費用 を助成

6月定例会の一般質問では3人の議員が登壇し歴史資源の有効活用や教育環境の充実、地域コミュニティの維持など町政全般にわたり論戦が繰り広げられました。

議案第1号

一般会計補正予算

豪雪により被害を受けた農業者に対する支援

2550万円

令和8年1月からの豪雪により被害を受けた農業者に対する支援として農業用ハウスの復旧費用を助成。



白神山地シートウーサミット
及び白神山地フェスティバル
を行うための経費

856万円

本年9月に予定されている「白神山地シートウーサミット2026」及び同時開催予定の「白神山地フェスティバル」に係る経費。



生涯学習センター施設整備費

3億6千120万円

地域未来交付金の配分額が審査の結果見込額に対して大幅な減額となったことから、交付金配分の減額とそれに対応する過疎対策事業債を増額。



討論

議案第3号 深浦町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

※討論とは…議題になっている案件の「賛成」「反対」について、理由を明確に述べながら賛否を議論すること

反対

七戸 仁 議員

処分が決定されたことで、本条例案の発端となった事案については一定の区切りがついたと考える。今回の事案は事業の解釈を誤ったことによる単純なミスであり、悪質性や故意によるものではない。農林水産省にもそのように理解され、現在も良好な関係が維持されていると考える。

また、今年度も広域農道や北金ヶ沢岸壁整備など大型事業への予算措置が見込まれており、町長の日頃の活動の成果が表れている。本件については、国から十分な指導・注意がなされたものと考えており、今後は再発防止を徹底することが何より重要である。

旧岩崎村及び旧深浦町においても同様の条例改正は前例がなく、処分も決定していることから、本条例案には反対である。

賛成

工藤 博利 議員

反対討論の内容は十分理解できるが、本件は業務上の過失により発生した事案である。今後、同様の事案を二度と起こさないよう職員への注意喚起を図るとともに、管理監督責任を果たすため、町長及び副町長が深浦町条例に基づき自らの姿勢を示したものと受け止めている。その意思を尊重すべきと考え、本条例案に賛成する。

本議案については討論が行われ、採決の結果、賛成5人、反対5人の可否同数となりました。

このため、地方自治法第116条1項の規定に基づき、議長が裁決を行った結果、可決されました。

わが町の ここが聞きたい

第145回定例会

一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に行政財政の運営や現行の政策、将来に対する方針などについて考えを質し、報告や説明を求め、より良い方向へ導くものです。

「日本の家」を活用した交流活性化は

七戸 仁議員



不動産実態調査の現状と対応は

大高恒藏議員



公共施設の維持管理方針は

今 勝吉議員



第145回定例会 上程議案と採決状況一覧

上程議案・概要・結果	結 果	八 木 史	七 戸 仁	福 沢 秀 己	大 川 清 光	岩 谷 司	岩 根 環	大 高 恒 藏	藤 田 一 則	工 藤 博 利	今 勝 吉	齊 藤 登
○は賛成、×は反対、欠は欠席、議長(齊藤登)は可否同数の場合を除き採決に加わらない。												
令和8年度 補正予算議案 ※概要については、P3参照												
議案第1号 一般会計(1回目) 豪雪による被害を受けた農業者に対する支援、「白神シートウーサミット2026」 「白神山地フェスティバル」を行うための経費など47,000千円増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号 介護保険特別会計(1回目) 介護報酬改定に伴うシステム改修経費として1,122千円増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例に関する議案												
議案第3号 ※概要については、P3参照 深浦町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 事務処理の誤りにより国庫交付金返還の事態が生じたことに関し行政運営の最終責任者である特別職として、指揮監督上の責務を果たす必要があることから町長及び副町長の給料の月額を減額するもの	可決 (可否同数)	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○ (裁決)
議案第4号 深浦町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 組織体制の適正化及び事務執行の効率化を図る観点から、現行の「理事」という職名を廃止するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号 深浦町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 国民健康保険法施行令の一部を改正する政令(令和8年政令第2号)が公布されたことに伴い所要の改正をするもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第6号 深浦町介護保険条例の一部を改正する条例 国による介護保険法施行令の一部改正に基づき、当該税制改正前の規定により算定した保険料と同等となるよう特例を設けるなど所要の改正を行うもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号 深浦町火入れに関する条例の一部を改正する条例 鯉ヶ沢地区消防事務組合火災予防条例の一部改正に伴い、所要の改正をするもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
その他の議案												
議案第8号 工事の請負契約の件 深浦町生涯学習センター整備工事 請負代金951,500,000円 請負業者株式会社 ホリエイ	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告												
報告第1号 令和7年度深浦町一般会計繰越明許費繰越計算書報告の件 旧岩崎小学校解体事業など37事業の総額7億3461万9千円を繰越	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告第2号 令和7年度深浦町一般会計事故繰越繰越計算書報告の件 北金ヶ沢地区漁業集落環境整備事業など2事業の総額1億4276万円を繰越	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告第3号 令和7年度深浦町水道事業会計繰越計算書報告の件 中央監視システム更新事業など2事業の総額6900万4千円を繰越	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

友好交流の深化

問

「※日本の家」を活用した 交流活性化は

答

現地の意向を尊重し交流促進



質問者の動画が
視聴できます。

しちのへ
七戸

ひとし
仁 議員

つぶやき

五能線には通学で
本当にお世話に
なりました。



▲日本の家

問 町長
ラヌア郡や新たな指定管理者の意向を尊重しながら取り組んでいく考えである。また、フィンランド国関連の情報収集を進めながら大使館が主催する文化イベント等への参加を探っていく考えである。

問 七戸議員
フィンランドのラヌア郡にある旧岩崎村から寄贈された「日本の家」を活用し、最低年1回、観光ポスターや文化展の作品等を送付し、現在の深浦町をより身近に感じてもらうなど魅力を再発信すべきと考えるが。

また、駐日フィンランド大使館を通じた文化・経済両面で交流を模索するべきと考えるが。

答 町長
国土交通省の「道の駅」登録には要件の充足、多額整備、維持コストなどの課題を踏まえながら実現可能性を慎重に検討していく。また、民間活力を活用したカフェ等については有効な手法と捉えており、再利用にとどまらず、町全体

問 七戸議員
太宰の宿ふかうら文学館は、太宰治ゆかりの宿であり、町の有形文化財として高い価値を有している。図書館機能移設後は、「道の駅」として登録することで浜町商店街の滞在拠点や回遊性も生み出すと考えるが。

また、歴史的な建物の趣を活かしたカフェなど民間活力を導入し、来訪者の滞在や消費を促す仕組みづくりも有効と思うが。

『観光振興と運動した活用を検討』

歴史資源の有効活用
ふかうら文学館の活用方針は



▲ふかうら文学館

の観光戦略や地域経済の活性化につながるよう、早期に具体的な活用方針を策定していく。

※日本の家…旧岩崎村との友好の証として1998年に建設された日本の木造建築技術を取り入れて建てられた施設。

わが町のここが聞きたい

五能線90周年

五能線90周年の
おもてなし強化は

『手を振ろうキャン
ペーン』を推進』

問 七戸議員

五能線全線開通90周年とい
う節目に合わせ、町民のおも
てなしの心を可視化する取組
を進めるべきと思うが。

また、JRのイベント期間
や強化週間に合わせて「列車
を見かけたなら手を振ろう」と
町民へ呼びかけるほか、観光
客が多く利用するリゾートし
らかみの通過時に、沿線住民
や観光関係者による自然な手
振りを促してはどうか。

答 町長

JRでは、五能線全線開通
90周年を祝し、「手を振ろう
キャンペーン」を沿線市町村
において実施することとして
いる。地域住民が列車に手を
振ることは、来訪者や運転手
への思いやりや心からのおも
てなしを伝える取組である。
町としても、広報紙や防災



無線、ホームページ、SNS
を通じ、「列車を見かけたら
手を振ろう」の情報発信に努
めていく。

未利用地の活用

町有未利用地の活用
方針は

『効果的な利活用を
検討』

問 七戸議員

旧岩崎総合スポーツセンタ
ー跡地や大間越口マンの里な
ど、活用策が定まらないまま
の町有未利用地が見受けられ
る。こうした未利用地の現状
をどのように認識しているの
か。

また、人口減少が進む中、
未利用地を地域活性化や財源
確保につなげる有効な活用を
図るべきと思うが、今後の方
針は。

答 町長

町は、効果的な利活用に至
っていない町有地が複数存在
していると認識している。建
物等が残る土地については、
解体費用や維持管理費の負担
などが課題となっている。

一方、更地として管理して
いる土地は、防災ヘリやドク
ターヘリの発着場、工事残土



▲大間越口マンの里



▲旧岩崎総合スポーツセンター跡地

の搬入地として活用している。
今後は、公共施設の統廃合
や集約化に伴う再活用を検討
するとともに、町の将来を見
据え、売却も含めた効果的な
利活用を模索、検討していく。

議会を傍聴しませんか

定例会は、誰でも傍聴することができます。町政に
関する予算や条例の提案、議員の質問・質疑、採決な
どが行われます。

次回は、9月上旬に定例会を開く予定ですので、皆
さんの傍聴をお待ちしております。



不動産実態の把握 不動産実態調査の 現状と対応は

問

答

相続登記の周知を継続



質問者の動画が
視聴できます。

おお たか つね ぞう
大高 恒藏 議員

つぶやき

飯喰う種がまた一つ
プツン…盛返すぞう！
頑張ろう！



問 大高議員

国の調査の過程で、全国に未登記建物が1000万戸以上存在する可能性が示された。当町における所有者不明土地や境界不明地、所在不明地、未登記物件などの現状と課題をどのように認識しているのか。

また、相続登記が義務化されて以降、住民に対しどのような指導、周知を行ってきたか。

答 町長

所有者不明土地や未登記物件について、固定資産税台帳に納税義務者を記載している。ので連絡は可能と考えている。また、境界不明地は188件、所在不明地は4218件、未登記物件は4254件把握している。

未登記物件の増加は、空き家対策や災害時の状況把握に支障をきたすことが課題であると認識している。

相続登記義務化への対応としては、固定資産税納税通知書へのリーフレット同封や広報による周知を行っているほか、所有者等死亡時には窓口

で相続登記や納税義務者変更の手続きを案内している。



遊休農地対策
対応は
『遊休農地の現状と
止を図る』

『遊休農地の現状と
止を図る』

問 大高議員

農業者の高齢化や後継者不足に加え、近年は鳥獣被害も深刻化しており、耕作を断念したことによる遊休農地が増加しているように思う。当町における遊休農地の現状はどうなっているのか。

また、耕作放棄地の発生抑制と解消に向けた対応は。

答 町長

農業委員会による農地利用状況調査を通じて全農地の状況把握に努めている。助成対象外の完全な不作為地は、令和3年度の49ヘクタールから令和7年度には83ヘクタールへ増加しており、農地全体に占める割合も増加している。

遊休農地の増加は、高齢化や後継者不足に加え、鳥獣被害による耕作意欲の低下が要因であると認識している。

今後も、基盤整備や農地集約による生産性向上を進めるとともに、中山間地域等直接支払交付金などを活用しながら農地の維持・保全に取り組み、遊休農地の拡大防止と持続可能な地域農業の確保を図っていく。



わが町のここが聞きたい

教育環境の充実

子供や保護者と 学校の働き方改革は

『教員負担の軽減を 図る』

問 大高議員

農林水産業や観光サービス業で土日に休めない保護者に配慮して、平日に子供たちが保護者と体験活動を行うことができるラーケーション制度を導入すべきと思うが。

また、教員が児童生徒と向き合う時間を確保するため、勤務時間外の電話自動音声対応を導入すべきと思うが。

答 町長

ラーケーション制度は、子どもたちが家族と過ごしながら多様な体験活動を行う機会として有意義であると認識している。一方で、授業時数の確保や家庭間の教育格差への配慮など課題もあることから、先行事例を調査・研究し、学校や保護者の意見を踏まえながら導入の可能性を前向きに検討していく。



電話の自動音声対応については、県の補助金を活用し、今年度中に全ての小・中学校へ導入する予定である。教職員の負担軽減と働きやすい環境づくりを進め、より良い教育環境の整備につなげていく。

共生社会の実現

インクルーシブ 社会・教育の推進は

『誰もが活躍できる 環境づくりを推進』

問 大高議員

障がいの有無や年齢、性別などにかかわらず、誰もが地域社会の一員として認められ、対等に参加できる共生社会の実現が求められているが施策等は。

また、障害の有無などの違いを越え、全ての子供が同じ環境で共に学び合うインクルーシブ教育を推進すべきと思うが。

答 町長

インクルーシブな社会の実現とインクルーシブ教育の推進は、誰もが自分らしく生き、互いに尊重し合える地域社会を築く上で重要な課題であると認識している。

町では、障がいへの理解を深めるための研修や啓発活動のほか、相談支援や就労支援地域生活支援の充実に取り組

んでいる。また、西北五圏域市町と連携し、障がいのある方が安心して暮らせる支援体制の整備を進めている。

教育面では、次の4つの取組に重点を置いていきたい。

一つ目は、子供たち一人ひとりの人格と個性の多様性を尊重し、お互いを求め合いながら協力協働して学ぶ教育を大切にする。

二つ目は、一人ひとりの教育的ニーズに応じ、適時・適切・適度な配慮の下に指導が受けられる教育を進める。

三つ目は、全ての子供が学校はもとより、地域社会を構成する大切な一員として包摂される教育を目指す。

四つ目は、一人ひとりが将来の夢に向かって主体的に自分の力を発揮できる教育に重点を置く。

インクルーシブ教育への取り組みは、私がまちづくりの施策に掲げる「ノーマライゼーション」、「バリアフリー」、「QOL（生活の質の向上）」の学校教育での取組みであり、共生社会を目指したソーシャルインクルージョンの理念実現への歩みである。



※ラーケーション…保護者と体験活動などを行うための校外学習休暇。欠席扱いとならない制度

※インクルーシブ…障がいの有無、年齢、性別、国籍などにかかわらず、誰もが社会の一員として尊重され、共に参加し活躍できる状態や考え方。

(9) ふかうらまち議会だより (令和8年6月定例会号)

問

公共施設の適正管理 公共施設の 維持管理方針は

答

計画的な長寿命化と再編を実施



質問者の動画が
視聴できます。

こん
今

かつよし
勝吉 議員



つぶやき

日本列島大雨シーズン、
事前に自分の行動を
考えよう！

問
今議員

公共施設の老朽化が進む中、道路や橋梁、漁港、学校など多くの公共インフラが今後耐用年数を迎える。特に深浦中学校や各地区集会所、廃校となった明道小学校などについて、今後どのような方針で維持管理や長寿命化、改修、解体に取り組むのか。

答
町長

公共施設等総合管理計画や個別施設計画に基づき、更新や統廃合、長寿命化など計画的に進め、住民サービスの維持と財政負担の軽減平準化を図る。

深浦中学校については、大戸瀬中学校との統合後、新校舎整備基本構想、基本計画を策定し、建設を目指す考えである。また、各地区集会所については、将来的な集約化が必要と認識しつつも、計画的な修繕や改修等により長寿命化を図るとしている。

一方、旧明道小学校など活用予定のない施設については、地域の安全確保を念頭に計画的な解体を進めていく。



▲深浦中学校

災害復旧と担い手確保
災害復旧の進捗と建設業者の現状は

『復旧を進め担い手確保に努める』

問
今議員

令和4年8月及び令和5年7月の豪雨災害により被災した公共土木施設や農地農業用施設、林業施設の復旧はどこまで進んでいるのか。

また、災害復旧や地域インフラの維持には地元建設業者の役割が重要である一方、事業者数や担い手の減少が課題

答
町長

災害復旧の進捗状況は、公共土木施設が97・8パーセント、農地農業用施設が74・6パーセント、林業施設が100パーセントとなっている。

一方、町内の建設業指名業者数は、平成18年度の51社から令和8年度には24社となり、半数以下に減少している。

建設業は地域インフラの整備や災害時の復旧活動を支える重要な産業であることから、町としても建設業の魅力や社会的役割について情報発信を行い、担い手確保につなげていく。



となっていると思うが、町の認識と今後の対応は。

わが町のここが聞きたい

砂防ダムの維持管理 砂防ダムの管理体制 は

『県と連携し適切な 管理を実施』

問
今議員

砂防ダムは県管理と承知しているが、近年は豪雨災害が頻発・激甚化しており、港湾や漁港への土砂堆積も懸念されることから、町内の砂防ダムの基数や現状、県との連携体制は。

答
町長

県が管理する砂防ダムが68基ある。県では定期的な点検や巡視を実施し、施設の状況や機能の維持管理に努めている。

砂防ダムは、土砂が堆積して満砂となった場合でも、上流部の安定化により土石流を抑制する機能を有するとされている。

また、町が河川等の巡視で異常を確認した際には、位置図や写真を添えて県へ報告し、必要な対応を依頼しており、

今後も県と連携しながら適切な維持管理と安全確保に努めていく。



▲砂防ダム

国道101号の整備 追良瀬2期・岩崎バイパスの進捗は

『着実に整備が進行』

問
今議員

国道101号追良瀬2期バイパスは、新たな橋梁の全容も見え始め、開通に向けた進展が実感できる状況となっている。現在の工事進捗状況と今後の見通しは。

また、岩崎地区では災害時

の代替路線確保や安全性向上の観点から岩崎バイパス整備が重要と思うが、現在の取組状況と今後の見通しは。

答
町長

追良瀬2期バイパスについては、令和7年度末までに新追良瀬橋（仮称）の架設工事が完了し、令和8年度は橋面舗装工事や橋梁取付部の道路改良工事を進め、令和9年度末までに通称力ナシキの崎までを部分供用する見通しとのこと。

また、岩崎バイパスについては、令和6年度に事業着手しており、現在は道路詳細設計を進めている。早期の工事着手に向け、着実に進めていくとのことである。



▲追良瀬2期バイパス

地域コミュニティの維持 移住者と地域のつながりづくりは

『相互理解と地域参加を支援』

問
今議員

人口減少や過疎化が進む中、自治会や町内会の維持が課題となっている。一方で移住者も増えており、地域コミュニティを維持していくためには、地域住民と移住者が相互理解を深め、円滑に地域活動へ参加できる環境づくりが重要と思うが、町の考えは。

答
町長

地域コミュニティの担い手不足や新たな住民との関係づくりは重要な課題であると認識している。

町では、整備を進めている「お試し住宅」を活用し、移住希望者に対して地域の文化や歴史、自治会活動などを紹介しながら、地域への理解を深めてもらう考えである。

また、岩崎地区で実施している集落支援事業や移住定住

促進協議会などを通じ、移住者と地域住民が交流し、相互理解を深める機会づくりに取り組んでいく。



▲整備中の「お試し住宅」



表紙写真 紹介

海を継ぐ



北金ケ沢に暮らす古川豪一さん（21歳）は、代々続く漁師の家に生まれ、「親の跡を継ぎたい」という思いから漁師の道を選びました。県内の水産学校を卒業後、ふるさとの海へ戻り、本格的に漁に励んでいます。

漁師の仕事は朝が早く、自然を相手にするため、その日の海の状況に応じた判断力や臨機応変な対応が求められます。「勉強とは違う頭を使う仕事」と話す古川さん。その難しさの中にも、大漁の喜びや、今までできなかったことができるようになった時に、大きなやりがいを感じるそうです。

「とにかく一人前の漁師になりたい。」その真っすぐな言葉には、深浦の海を支える担い手としての強い決意が込められています。若き漁師の挑戦は、今日もふるさとの海で続いています。

題字を 書いて くれた人

ふかうら



ふの文字が難しかったです。
深浦町の自然がいっぱいなところが好きです。

修道小学校6年生 こじま せいな 小島 星彩七さん
(北金ケ沢書道教室)

議会広報編集委員会

委員長 今 勝吉
副委員長 七戸 仁
委員 大高恒藏
岩谷 司
大川清光
福沢秀己
発行責任者 斉藤 登
(議長)

【誤】6月12日発行第85号に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。
【正】19ページの「人事案件 新教育長に佐藤 紘昭氏を任命」
【誤】任期は令和8年5月14日から3年間です。
【正】任期は令和8年5月14日から4年間です。

お詫びと訂正

編集後記

昨冬は何十年かぶりの大雪に見舞われ、町民の皆様は大変ご苦労されたことと思います。また、地球温暖化の影響によるものか、全国各地では線状降水帯による大雨や台風、さらには記録的な高温など、異常気象による被害が相次いでいます。これから本格的な台風シーズンを迎えますが、まだまだ気が抜けない状況が続くと思われますので、町民の皆様にはご自愛いただき、健康で安全にお過ごしくださいようお願いいたします。

我々町議会も改選を一年後に控えておりますが、これからも町民の皆様が安全で安心な生活を送れるよう、より一層努力してまいります。(岩谷 司)



発行・深浦町議会 編集・議会広報編集委員会
〒038-2324 深浦町大字深浦字苗代沢 84-2

議会の関するお問い合わせは議会事務局まで
TEL 74-2111(代)、74-4418(直)

「QRコード」はデンソーウェーブの登録商標です